

That's市民力



発行:長崎市市民協働推進室 〒850-0022長崎市馬町21-1 TEL 095-829-1125 FAX 095-829-2925

THAT'S市民力12月号

- 長崎伝習所「塾」事業の塾長・塾テーマ募集中！ 1
- これって協働？～長崎ベイサイドマラソン&ウオーク～ 1
- ちゃんぽんミーティング開催 2
- 自分新化講座 第3回開催 2
- これって協働？～アダプトプログラム～ 2
- 五島市民協の視察を受け入れました 2

長崎伝習所「塾」事業の塾長・塾テーマ募集中！

長崎伝習所の「塾」事業は、昭和61年度の創設以来、人材のネットワークづくりと地域の活性化を目的に活動し、市民と行政の協働の場としてまちづくりについての調査研究や実践活動を展開しています。

現在、平成27年度に活動する「塾」の塾長・塾テーマを募集しています。

長崎のために何かしたい！まちづくりのためにこんなこと提言したい！という熱い想いを持っている方のご応募をお待ちしています。

◆対象
市内にお住まい、通勤、通学されている方



長崎伝習所のマスコットキャラクター“でんでん”

◆応募期限

平成27年1月16日(金) 17:00必着

◆塾の活動期間

平成26年5月(予定)～平成27年3月

◆申込方法

長崎伝習所事務局(馬町21-1市民活動センター内)、市役所本館案内所、行政センター、支所にある申込用紙に必要事項を書いて提出

※ホームページでも入手可

◆選考方法

長崎伝習所運営委員による書類審査、公開プレゼンテーション審査会により決定

これって協働？～長崎ベイサイドマラソン&ウオーク～

長崎ベイサイドマラソン&ウオークは、ハーフマラソンをはじめとするマラソンの部とウオークの部を同時開催しており、毎年5,000人を超える方が参加しており、長崎の秋の風物詩となっています。

マラソンの開催にあたっては、スポーツ振興課が大会の企画・全体調整を行い、各団体や市民サポーターが様々な形で協力しています。長崎市陸上競技協会や市民ランナー団体は、大会前の沿道警備マニュアルの作成補助やコースの測定、大会当日は競技運営を行っています。また、地元自治会や関係団体、高校生サポーターなど多くの方がコース上の警備、給水、参加者受付などを行い、大会を支えています。

市民の皆さんと一体となって大会を開催することで、全国各地から長崎を訪れる方を温かくお迎えし、おもてなしの心あふれる大会として参加者の満足度アップ、リピーター化につながっています。



スポーツ振興課
大会の企画・全体運営
関係機関との連絡調整

長崎市陸上競技協会
市民ランナー団体
競技運営協力、コース測定、沿道警備マニュアル作成補助

地元自治会、市民サポーターなど
沿道警備、給水、参加者受付等運営補助

- ・大会の円滑な運営
- ・参加者の満足度アップ

ちゃんぽんミーティング開催

12月11日(木)、「映像でまちづくり」をテーマにちゃんぽんミーティングを開催しました。今回は映像を使って活動を行っている団体、個人から13人が参加しました。

今回もちゃんぽんを食べ、それぞれ自己紹介をして意見交換がスタート。

参加者からは、「映画の誘致には市民の巻き込みが不可欠。もっと多くの人を巻き込んでいくことが課題」「長崎には貴重な映像資料がたくさんある。しかし、それをどう集め、保存していくか考えていく必要がある」というような意見が出ました。

会が終わった後も参加者は、遅くまで残って名刺交換したり、話をしたりしていて、映像関係のネットワークの輪がますます広がっていく予感がしました。



今年度のちゃんぽんミーティングは、今回で最後ですが、来年度も月に1回程度開催していく予定です。興味があるテーマの際は、ぜひご参加ください。



これって協働？～アダプトプログラム～

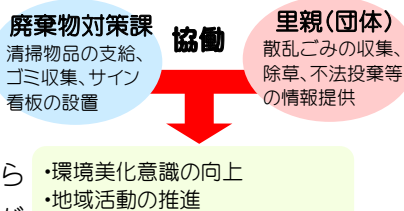
アダプトプログラムは、市民と行政が役割分担を定めた協定を結び、両者のパートナーシップのもとで美化を進めている「まち美化プログラム」です。

一定区間の公共の場所を養子にみたと、市民が里親となって、ごみ拾いや除草などを行い、廃棄物対策課が、ゴミ袋や軍手などの支給、ごみの収集、サイン看板の設置などを行っています。

里親の皆さんがわが子をかかわるように美化活動を行うことで

地域への愛着が増し、市民の環境美化に対する意識の向上や協働による地域活動の推進が図られ、長崎のまち全体が

きれいになるという、協働の効果あらわれています。



自分新化講座第3回開催

11月26日(水)、長崎伝習所の特別講座「自分新化講座」の第3回を、長崎ブリックホール国際会議場で開催し、約340人が参加しました。

講師は、JR九州の「ななつ星」などをデザインされたデザイナー・イラストレーターの水戸岡鋭治氏。「デザインは公共のために」をテーマに、水戸岡氏が自身のコンセプトとして持っている21の言葉をエピソードを交え伝えたほか、水戸岡氏がデザインした事例について写真や動画を使い、裏話も交えながら紹介しました。

『理解することと賛同することは別である』これまで日本人は、理解したら賛同したと思い込んでしまい、賛同するまでの議論を交わしてこなかった。これから議論をきちっと交わせるようにならない限り、まちづくりはできない」と語りました。

今回は、1月15日(木)に開催します。講師は、プロデューサーの残間里江子氏。テーマは、「創造のためのプロデューサー感覚」です。



五島市民協の視察を受け入れました

12月5日(金)、五島市の民生委員児童委員協議会(以下民協)の視察を受け入れました。

今回訪れたのは五島市民協の21人。

「市民活動センターと協働について学びたい」ということから、市民協働推進室と長崎市社会福祉協議会ボランティア室が市民活動センターや協働の取り組みについての紹介を行いました。

視察に来られた皆さんは、発表を熱心に聞き、「協働を進めていくうえで気を付けていることは何か」など次々に質問が飛び出していました。

終了後、参加者からは「大変勉強になった。五島市でもできることを取り組んでいきたい。」という感想が出ていました。

